

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2022年11月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2022年11月 1日発行 通巻355号

晩秋から初冬へ、良い季節になりました

安全に山行を楽しもう!!

1 1月号目次

・ 目 次	2
・ 10月理事会報告	3
・ 山行報告 那須茶臼岳と安達太良山山行記（市川山の会）	6
・ 山行報告 八ヶ岳集中山行（船橋勤労者山の会）	9
・ 山行報告 バス旅2題そして教訓（東葛山の会）	11
・ 集会報告 関東ブロック救助隊交流集会（かがりび山の会）	12
・ 2022 オンライン講習会のお知らせ	14
・ 第4回オンライン講習会の案内	15
・ 関東ブロック自然保護担当者会議開催案内	16
・ 2023年労山カレンダーの取り扱い	17
・ 田中陽希書籍紹介『田中陽希日記』	18
・ 11月・12月予定表	20

<ミニコラム1>

『メーリングリスト利用配信でのトラブル』を、p.5に紹介しています。

<ミニコラム2>

『月刊:登山時報』はどうなるの…？ を、p.8に紹介しています。

<表紙写真説明>

2016年11月22日～12月5日の2週間で、ニュージーランドの『南島』と『北島』でトレッキングを連日楽しみました。

まずは、世界中のハイカーの誰もが憧れる『ミルフォード・トラック』を、突然の降雪にも負けず歩き、最後に『ミルフォードサウンド』を船で堪能しました。

次に、マウント・クック国立公園の『ハーミテージ・コテージ』に泊まり、夜は満天の星空を仰ぎ、昼は1番人気の『フッカー・バレー・トラック』の『フッカー湖』まで歩き、湖畔で『マウント・クック 3724m』をバックに東葛山の会14名と友情参加1名の総勢15名の笑顔を納めました。

その後、北島に飛び、『トンガリロ・アルパイン・クロッシング』を縦走しました。

ニュージーランド最後の夜は、オークランドのレストランで晚餐を楽しみ、大きなサンタクロースに見守られながらホテルに戻りました。

勿論、チャーターバスでの移動中には、観光も満喫しましたよ！

全身でニュージーランドを体感した2週間でした。

（安彦秀夫：海外委員会）

千葉県勤労者山岳連盟 2022 年 10 月 理事会議事録

議事録作成者：山の会らんたん 豊田幸長

日 時 2022 年 10 月 20 日 (木)

場 所 オンライン会議 19:00～21:00

参加者一覧 (2022 年度)

県連理事		×	松宮 (市川)	○	廣川 (君津)	○	吉武 (かがりび)
○	深草 (あびこ)	○	藺田 (ちば)	○	西岡 (ちば)	○	五木田 (こまくさ)
○	羽鳥 (東葛)	○	酒井 (船橋)	○	田中 (ふわく)	○	今井 (茂原)
×	渡邊 (松戸)	×	西村 (まつど遠足)	○	小林 (山翠会)	○	豊田 (らんたん)
×	佐藤 (らんたん)	○	戸石 (民医連)	○	荒井 (岳樺)		
県連役員		○	広木 (会長)	○	野田 (理事長)	○	鶴田 (副理事長)
○	菅井 (自然保護)	○	伊東 (教遭)	○	安彦 (海外)		
全国連役員		○	石川 (副理事長)	○	山本 (理事)		

○：出席、×：欠席 理事と役員兼務の場合は理事の方に記載

議 事

1. 理事長挨拶 (野田)

紅葉のシーズンです。秋の山行を楽しみましょう。一日の寒暖差が大きい日が続いています。ご自愛ください。

2. 役員会報告 (広木)

10 月 6 日 (木) 14 時～16 時 30 分 ZOOM 役員会実施

各委員会の報告と重複するので省略。カレンダー代金は会で纏めて千葉県連盟に納付。

3. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会 (伊東)

①事故防止・経験交流集会

11 月 5 日 (土) 10 時～16 時 30 分、千葉市幕張勤労市民プラザにて開催。

10 月 21 日 (金) までに各会で一括申込みすること。

②関東ブロック救助隊技術交流会

10 月 22～23 日 長瀬町で。教遭委員 2 名 (伊東、吉川) 参加。30 名参加予定。

2) 自然保護委員会 (菅井)

関東ブロック自然保護担当者会議 11 月 26 日 (土) オンラインで開催。

7 都県より 9 名参加申込あり。参加各地方連盟より報告書が届いている。

県連役員・理事・各会代表を始め、関心のある人の参加をお待ちしています。

申込締切：11 月 12 日 (土) <注：編集子追記> (詳細は p.16 参照)

3) ハイキング委員会 (田中)

10 月 11 日、第 3 回ハイキング委員会開催。関東ふれあいの道 (東金～土気)

を11月23日に下見し、恒例の来年1月のロングハイキングのコースを決めたい。また、台風で荒廃した房総の登山道の復旧について方針を纏めたい。

4) 組織委員会 (野田)

活動していない

5) 女性委員会 (広木)

12月22日の第4回オンライン講習会の講師(石田先生)と打ち合わせ中。
来年1月に実技講習会も予定。

6) 海外委員会 (安彦)

- ①第2回オンライン講習会(10/27)への参加要請。
- ②来季の海外登山情報配信 「エベレスト街道+α」はどうか?
- ③次回海外委員会は12月8日(木)19時~21時 ZOOMにて開催。

7) 機関紙委員会 (広木)

原稿が少ない。個人・会山行報告の投稿をお願いします。

4. 役員会からの連絡 (野田)

- 1) 2023年合同会議 2023年3月4日(土)午後に ZOOM で開催予定。
- 2) 9月29日開催の「第1回オンライン講習会(労山基金)」は好評だった。
各会の基金担当者間の情報交換のためメーリングリストを作成する。
- 3) 各会の代表や担当等が変更した場合、野田まで速やかに連絡をお願いします。
- 4) 県連連盟費未納の会は速やかに納入して下さい。

5. 全国連からの情報 (野田)

- ①全国連来年度カレンダー申込み(詳細はp.17参照)
- ②第30回関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」
来年2023年1月21日 9時~22日 14時。天神平などで。申込締切:12月31日
- ③全国自然保護集会 11月12日 13時~13日 12時、
講師:和田武氏「世界と日本の再生可能エネルギーの最新動向と今後の課題」
全国連事務所にて、定員30名、申込締切:10月23日
ZOOM参加は無制限(全国連ホームページより申込む。申込締切:11月3日)
- ④労山登山学校交流会 11月19日~20日 京都府大原温泉にて
- ⑤全国登山研究集会 10月29日~30日「ホテルコンチネンタル府中」にて。

6. 各会理事からの活動状況報告

- ①民医連:勤務場所が病院なのでコロナ禍で会としての活動は停止しているが、個人としては登っているようだ。最近増えだしてきているようだ。
- ②岳樺クラブ:会員9名。会山行はないが個人山行を数名で行っている。
- ③君津ケルン:会員20名。最近3名が入会したが、高齢化が進んでいる。君津から登山口まで時間がかかるので、冬季は近場の房総の山に登ろうか…と検討中。

7. 全国連理事からの連絡・情報提供等

- ①石川副理事長：遭難、死亡事故が増えてきている。下山中の転倒が多く、手首などの骨折が見受けられる。
- ②山本理事：全国自然保護集会（11/12-13）開催。オンライン申込締切：11月3日。
「登山時報（月刊）」は、今年12月号で廃刊。その後の方針発表が遅れている。

8. 今年の県連オンライン講習会の計画について（伊東）

- ①第2回オンライン講習会を10月27日（木）に開催。
「ネパール・ピサンピーク」登山報告（講師：酒井莊多氏：船橋勤労者山の会）
- ②9/29開催の第1回オンライン講習会参加者は19名。資料は県連HPにアップ中。

9. その他協議・連絡事項

- ①11月理事会はオンラインで、12月理事会は船橋西部公民館で実施予定。
- ②労山基金交付申請書の県連代表者の署名・押印について、
野田が千葉県連代表者として署名・押印するので、事故後の怪我等の処置終了後交付申請書を送ってほしい。署名・押印して返却します。
（野田住所：〒277-0862 柏市篠籠田 1030-35 TEL：080-3450-0779）
- ③羽鳥：県連創立50周年記念誌をどうするか。今年度も残り少ないが…。
県連役員会で話し合ってほしい。→早急に話し合います。
- ④山本：各会のクリーンハイクの実施状況を報告してほしい。
→菅井自然保護委員長へ各会から報告し、纏めて全国連盟に報告する。

<ミニコラム1> 『メーリングリスト利用配信でのトラブル』

各会代表者、県連理事、県連役員へ連絡をする際に、『メーリングリスト』を使用しています。ところが、発信者及び受信者のメール環境によって問題が発生しているケースがみられました。例えば、『ちばニュース』を上記三者に各メーリングリストを利用して配信した場合、次のような問題があったようです。（メーリングリストは、代表者、理事、役員の3種類があります）

- ① メールそのものが配信（受信）されていない（迷惑メールにもない）。
- ② 受信しても添付ファイルがない。
- ③ 添付ファイルがあっても開けない。

このような問題のある受信者に対して、『個々のメールアドレス』に配信すると、上記のような問題は発生しないようです。送信者と受信者の双方での対策があるようですが、パソコン関連の素人には詳細は分かりません。送信者側で手間かけることで一応の解決はできるようですので、当面は『個々のメールアドレス併用』という形で対応していくことになりそうです。因みに、私から上記三者に『ちばニュース10月号』を『添付したメール』と『添付なしのメール』の2通を、各メーリングリストを利用して配信したところ、33名配信で23名から回答があり、誰も問題は発生していませんでした。また、これまでに問題があった11名の中でも9名から『問題なし』の回答が届いています（2名は未確認）。また、最近、別の問題も発生しているようです。スマートな解決方法はないのでしょうか？（編集子）

那須茶臼岳と安達太良山 山行記

市川山の会 松宮 俊一

8月21日（日）～22日（月）、市川山の会の仲間17人で、那須茶臼岳と安達太良山に登った。天気にも恵まれ印象に残る山旅になった。

1日目 那須茶臼岳

8月21日（日）朝6時、西船橋を中型バスで出発。曇りのち晴れのまずまずの天気。バスは順調に外環道・東北道を走り、9時過ぎに那須ロープウェイ山麓駅に着いた。スロー組5人は往復ロープウェイを利用して山頂往復コース、一般組は県営駐車場から登山道を歩き山頂へ。復路にロープウェイを利用する周回コース。

9時35分出発。山の神の鳥居をくぐり樹林の中に伸びる登山道へ。アキノキリンソウ、ホタルブクロ、ヤマトリカブト、ウツギなどの花を楽しみながら快調に歩く。10時を過ぎたころ展望が開け、右手の谷を隔てて荒々しい山容の朝日岳が見えてきた。さらに火山特有の赤茶けた砂礫の道を歩くと、鞍部に建つ峰の茶屋跡の避難小屋も見えてきた。山肌にはパイオニア植物のオンタデが生えている。白雲が浮かぶ青空をバックにした朝日岳の稜線は美しく、登りの疲れを忘れさせてくれる。



10時30分、避難小屋到着。多くの家族連れや若者たちが休憩していた。小休止後、砂礫の道を茶臼岳の頂上めざして登る。振り返れば那須連峰の最高峰三本槍岳のなだらかな山頂が見えた。直径100mほどの浅い旧火口跡を回り込み、11時35分茶臼岳山頂に着く。巨岩が積み重なる頂上は狭い。アキアカネが乱舞していた。ガスが出てきて展望は今一つだが、時おり切れ間から広大な那須野ヶ原が望めた。

12時15分、ロープウェイ山頂駅をめざして砂礫の急斜面を下山。振り向けば安山岩質の溶岩ドームの山頂が見え隠れしていた。下山路にはヤマハハコが沢山咲いていた。

14時、山麓駅を出発。東北道の本宮インターをめざす。宿泊先は、「ふくしま県民の森フォレストパークあだたら」。森に溶けこむように建つコテージは広くて気持ちがいい。管理棟の大浴場は肌に優しいアルカリ性の温泉。森に面した露天風呂は、火照った肌に吹く風が優しく最高だった。外に出て空を見上げれば満天の星。夏の大三角や天の川がはっきり見えた。明日の好天が予想された。

2日目 安達太良山

6時30分、コテージ出発。あだたら高原スキー場の駐車場へ。雲一つ無い快晴。スロー組はゴンドラを利用しての山頂往復コース。一般組は勢至平・くろがね小屋・牛の背経由で山頂へ。下山時にゴンドラ利用の周回コース。

7時25分出発。登山口からくろがね小屋近くまでは広葉樹林の中を歩く。道幅が広く傾斜も緩やかで歩き易い。鉄山直下に岳温泉の湯元があり、湯樋管等を点検・管理する車が往復していた。



途中、ヨツバヒヨドリの蜜を吸う渡り蝶のアサギマダラに遭遇、慌ててシャッターを切る。金明水で喉も潤す。ツルリンドウが紫の可憐な花を咲かせていた。くろがね小屋前のナナカマドが赤く色づき始めていた。

小屋から登山道に入り、30分ほど歩くと視界が開け、箆山や安達太良山の山

頂が見え始めた。さらにガレ場の道を登ると峰の辻分岐。一気に展望が広がり、周りは安達太良連山の山並み、眼下には福島市、二本松市と光る阿武隈川。さらなる向こうには阿武隈山地の山々が望めた。

矢筈森山の斜面をトラバースして牛の背へ。目の前に突然現れた直径1,400m深さ150mの明治30年噴火の大爆裂火口「沼の平」は圧巻！有毒ガスの吹き出るクレーターのような荒涼とした風景から、地球の内部の息づかいを感じた。船明神山の裏から磐梯山の山頂部がのぞき、裏磐梯の湖沼群や西吾妻山、飯豊連峰も望めた。いつまで見ていても飽きない景色だったが時間もあるので先を急いだ。



11時30分、砂礫の尾根を歩き安達太良山山頂下の広場に到着。乳首型の山頂はすぐそこ。空身で登り11時45分山頂着。岩の重なる狭い山頂に祠が鎮座している。ガスも出てきて展望は今一つ。記念写真を撮り急いで降りる。広場の陽だまりでお弁当を食べ、集合写真を撮って13時下山。灌木の中の石がごろごろする狭い登山道は、段差もあり歩きにくい。14時、薬師岳で最後の展望を楽しみゴンドラに乗る。

お楽しみの温泉は、標高950mの登山口にある「奥岳の湯」。酸性の白濁した湯が檜の湯船にあふれ、樹林を見下ろす開放的な露天風呂から見える景色が

とっても素晴らしかった。

15時30分出発。帰路も順調に走り19時30分西船橋到着。2日間のバス車中では、「グレートトラバース百名山人力踏破」前後編6時間のDVDを視聴。8月11日山の日、田中陽希さんの講演を聞いたばかりだったので、さらにプラスαの山旅になった。



<ミニコラム2>『月刊:登山時報はどうなるの…?』

『月刊誌：登山時報』（有料）は、2022年12月号を最後に廃刊となります。来年2023年からは、『月刊誌：（仮称）労山ジャーナル』と『季刊誌：登山時報』として再出発します。両誌は、基本、**無料**で**電子媒体(PDF)**で配信されますが、**日本勤労者山岳連盟のホームページ**でも閲覧できます。

★『月刊誌：（仮称）労山ジャーナル』：A4版8頁建てで毎月発行。（名称検討中）
全国連盟の活動報告や行事案内などを掲載。

★『季刊誌：登山時報』：A4版と一回り大きくし、年4回（春夏秋冬）発行。

これまで同様に、紙媒体・冊子での購読を希望する場合は有料になります。『配信方法』や『紙媒体・冊子希望購読方法』などの詳細については、『月刊：登山時報12月号』に掲載予定です。

9/10～11 ハケ岳赤岳集中山行

メンバー： 権現岳・赤岳縦走組 4 名、
立場川沢登り組 2 名、大同心稜登攀組 3 名、
真教寺尾根組 1 名 （計 10 名）

9/10(土)縦走組は西船 06:00 発。曇り。
観音平駐車場 10:00。50 台スペースあるが
下は満車。上に 1 台分スペースあり駐車出
来た。樹林帯を登り、青年小屋 14:00 着。
テン泊。一人 800 円。結構混んでいたが、良
い場所を確保。霧時々晴れ。13℃程度。満月
が明るかった。

沢登り組は立場川の沢途中の草地にテン
泊。**登攀組**は赤岳鉱泉テン泊。**新教寺尾根組**
は車中泊。

9/11(日)縦走組は、03 時前起床。04:30 テ
ン場発。晴れ。05:00 頃から薄明るくなる。
樹林帯を登り鎖場をトラバースし、06:20 権
現岳。長い鉄梯子を下り赤岳への縦走路へ。
1 時間 45 分でキレット小屋。小屋は閉鎖中
で水無しだが、テン場のトイレは使える。樹
林帯を登り、簡単な岩を登り、真教寺尾根分
岐へ。ここで赤岳山頂到着組が声をかけて
くれ、目視できた。10 分強で赤岳山頂着。
11:10。ここで縦走組・沢組・クライミング
組・新教寺組計 10 名が集中。縦走組は集中
予定時間より 10 分遅れたが、みんなよく頑
張った。写真を撮って、休憩後、文三郎道を
下山。行者小屋から南沢を下り 16:00 美濃
戸山荘着。ここで第一交通に電話し 17:15
美濃戸口にタクシーを呼ぶ。17:15 美濃戸
口着。17:45 観音平駐車場着。メーターで
7600 円。行動時間 12 時間 45 分。疲れたが
充実した山だった。境川 SA 工事中だった

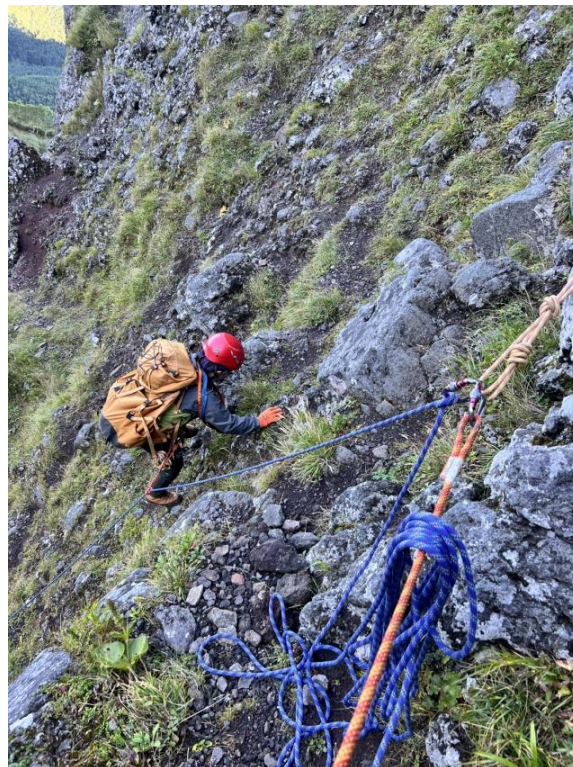


上：夜明けの権現岳 中：権現頂上 下：天狗尾根遠望

ので、釈迦堂 SA で夕食。西船からの武蔵野線最終ギリギリだったので、新浦安まで畠山さんに送ってもらおう。23:05 新浦安着。満月や静かな森の夜はふける



大同心稜



大同心稜



赤岳頂上で大同心稜登攀組・立場川沢組・権現赤岳縦走組・真教寺尾根組、計 10 名が集中

バス旅 2 題そして教訓

安彦 秀夫（東葛山の会）

<1> 野田市民ハイキング:那須茶臼岳 10月2日(日) 日帰り

参加者 26 名（一般 12 名、会員 14 名）が、秋晴れの下、紅葉の見ごろにはちょっと早い茶臼岳ハイキングを楽しみました。ただ、トラブル（ヒヤリハット）があり、自分自身も含めて教訓とするために敢えて紹介します。（野田ハイキングクラブ主管）

❶歩き始めて間もなく、一般参加の女性の両登山靴の底が突然剥がれました。『結束バンド』と『テーピングテープ』で固定し歩けるようにしました。5 年ほど使用せずに下駄箱に大事に仕舞っておいたそうです。

❷山頂よりお鉢を時計回りに進み、一旦ロープウェイ山頂駅近くまで下りるはずが、なんと先頭のリーダーは『標識』を確認せずに、『峰の茶屋』への道を下り始めました。

後方にいた私は、大きな声で「違いますよ！」と叫んだものの「間違っていない！」と言い更に下ろうとするし、最後尾のサブリーダーは、私に向かって「歩いたことがあるんですか…？皆で行けば大丈夫！」というではありませんか…。

「地図と標識をしっかりと確認してください！」と強く言って、やっとリーダーはしぶしぶ戻ってきて間違いに気づいたようでした。

❸『牛ヶ首』手前で昼食を摂り、『峰の茶屋』からの下りで、先頭のすぐ後ろを歩いていた一般参加の女性が転倒し大きな岩に顎を打ち出血しました。顎に大きなバンドエイドを貼り、更にテープで固定し、歩き出そうとしたら立ち上がれませんでした。脚や腰なども強く打ったようで歩けそうもなく、会員が細引きを彼女の腰に結び、両側に友人が付き添い下りました。歩けて良かったあ。実は、❶と同じ女性でした。

★そこで教訓(戒め)です。

①万が一に備え『結束バンド』を持参しましょう！

②現在地を地図と標識を見て確実に把握しましょう！

③疲れているので焦らずマイペースで下りましょう！



<2> 野田市ボランティア連絡協議会研修バス旅行 10月12日(水) 日帰り

参加者 24 名（10 団体）で、市のバスを使用した『東京臨海広域防災公園』の見学に参加しました（私が所属する『むらさきの里 野田ガイドの会』からは 4 名参加）。

地震発生後 72 時間の生存力を付ける体験学習ツアーでは、タブレット端末を使って『防災クイズ』を解きながら危険箇所を確認し、避難場所に辿り着く疑似体験をしました。その後、アニメ『東京マグニチュード 8.0～東京直下 72h～』を見て、改めて『被害の大きさ・酷さ』と『防災の備えの大切さ』を痛感しました。

築地場外市場の『寿司ざんまい新館』で握り寿司を堪能した後、集合までの 2 時間に、『築地本願寺』、『波除神社』そして築地場外市場内を散策し、更にぶらぶら歩いたら『東京盲啞学校発祥の地・日本点字制定の地』と『海軍兵學寮跡・海軍軍醫學校跡』の石碑を見つけました。多くの体験をした 1 日でした。（2022/10/26/Wed.）

関東ブロック救助隊交流集会報告

教育遭難対策委員 吉川（かがりび山の会）

日時：2022年10月22日（土）～10月23日（日）

場所：埼玉県比企郡ときがわ町（実技訓練）、埼玉県秩父郡長瀬町（情報交換）

参加者：東京都連盟（3名）、神奈川県連盟（4名）茨城県連盟（1名）、千葉県連盟（2名）群馬県連盟（9名）、栃木県連盟（4名）、埼玉県連盟（主管 5名）
総勢 28名、泊り 18名

<報告>10月22日、埼玉県比企郡ときがわ町にある新柵山の中腹岩場で、救助技術の実技訓練を実施後、長瀬の民宿へ移動し、情報交換会を実施。翌23日午前中に各県連の救助隊の現状と今後について情報・意見交換を行った。

22日の実技訓練では、要救助者の搜索を想定して、谷筋への下降・登り返し技術、引き上げ技術、搬送技術についてチームレスキューでの訓練を実施した。



写真1：ユマールを用いた登り返し、ブレイカーはグリグリを使用している。



写真2：リギングプレートにカラビナとプーリーを接続し、4倍力システムを構築してユマールで引く。



写真3：要救助者側にもプーリーシステムを構築している。



写真4：要救助者の介護懸垂にはラビットノットを利用

下降・登り返し技術については、フィックスロープを懸垂下降で下り、アッセンダー（ユマール）を用いての登り返しを行った（写真1）。引き上げ技術については、リギングプレートにカラビナとプーリーをセットし、4倍力の引き上げシステムを構築し、ユマールで逆流防止をしながら、引き上げを行った（写真2、写真3）。また、要救助者をラビットノットでつないで、介助懸垂する方法についても実技訓練を行った（写真4）。ラビットノットは比較的利用価値の高い方法であると感じられた。搬送については、時間がなかったため割愛した。



写真 5：情報交換会での議論も活発に行われた

23日の情報交換会では、

- 1, 各県の救助隊の現状
- 2, アルパイン伝承、教育体制
- 3, 今後の救助隊の在り方

について情報交換を行った（写真5）。

救助隊が組織的に活動をしているのは、東京、神奈川で、群馬、埼玉は活動及び技術力はあるが、組織的活動は難しい状況。栃木、千葉、茨城は救助隊の活動が実質的にない状況。

組織的に救助隊活動が行われている東京、神奈川では、教育体制とリンクしており、アルパイン教育を体系的に実施している。散発的な講習では、なかなか人が育たないので、教育課程を定めた講習プログラムを作っており、岩登り学校などは募集するとすぐに定員が埋まり、講習生の出席もよい。こうした講習を卒業した若手が救助隊のメンバーとなる例もあり、次世代の育成にも役立っている。救助活動については、実質的には警察に任せ、警察の捜索終了後は民間救助隊に依存する県もある。

一方で、警察の捜索はおおむね3日で終了してしまい、また、民間救助隊は費用が非常に高くつくため、その後の捜索には、やはり救助技術を持った組織が必要との考えもある。また、実際の遭難現場で、救助隊の技術が役立った事例も数多くあり、救助隊の存続意義は高いものがある。若い人の中には、アルパイン技術に対する要望も多いことから、技術講習を通じて、若手を獲得・育成して救助技術も向上させる意識的な取り組みを行う必要がある。

速やかな救助活動に資する装備として、ココヘリの携帯を推奨することは良いが、ココヘリに加入しながら、発信器を持参しなかった例や、電池切れで捜索の助けにならなかった事例もあることから、注意が必要である。

次年度主管は群馬県である。どのような内容にするか意見を寄せてほしいとの要望があった。

2022 オンライン講習会開催のお知らせ

事務局 教育遭難対策委員会

(担当) 伊東春正 (かがりび山の会)

メール : itou2385@yahoo.co.jp

昨年 2021 年につづき、今年も『オンライン講習会』を 4 回開催いたします。

『テーマ』、『日程』及び『講師』は、役員会と理事会で次のように決まりました。
約 1 時間の講演の後、約 30 分間の質問の時間を取っています。

<第 1 回> 終了(資料は県連ホームページに掲載中) 参加者 19 名

テーマ : 労山基金を正しく理解し、上手に活用しよう

－ 他の山岳保険との比較に見る優位性 －

日程 : 9 月 29 日(木)19:00~20:30

講師 : 鶴田 秀雄 氏 (ちば山の会)

<第 2 回> 終了(資料は県連ホームページに近日中に掲載予定)

テーマ : 海外委員会より『ネパール・ピサンピーク』登山報告

日程 : 10 月 27 日(木)19:00~20:30

講師 : 酒井 莊多 氏 (船橋勤労者山の会)

<第 3 回>

テーマ : ココヘリの紹介

日程 : 11 月 24 日(木)19:00~20:30

講師 : AUTHENTIC JAPAN 社

<第 4 回>

テーマ : 著書「一生、山に登るための体づくり」の講演

日程 : 12 月 22 日(木)19:00~20:30

講師 : 石田 良恵 先生

※具体的な講演内容について、先生と打合せ中です。

(予告) 来年 2023 年 1 月頃に、実技講習会の開催を検討中です。

後日、『開催案内』と『参加申込書』などを、各会代表者及び県連理事を経由してメール配信します。担当へ直接メールで申し込んでください。

尚、オンライン講習会は、Zoom で行います。

開催日間近になりましたら、参加申込者に『Zoom 講習会招待メール (URL 記載)』を配信します。

記載されている URL をクリックするだけで講習会にアクセスできます。

多くの参加をお待ちしています。

第4回オンライン講習会の案内

第4回オンライン講習会を下記により実施します。

◆ 2022年12月22日(木)19時～20時30分

◆ オンラインで実施（パソコンで自宅にて受講できます）

◆ 申込み等の詳細は後日お知らせします。

講師は、山筋ゴーゴー体操でおなじみの石田良恵先生です。

石田先生は、次のように話しています。

登山は、歩く事ができれば、何歳まででも続けられます。

安全に長く楽しむには「体づくり」が重要です。

今回は、「登山に有効なトレーニング」と「速筋タンパク」を学びます。



<講習会参考書籍紹介>

日々行うトレーニングやストレッチ、そのための栄養、登山後のアフターケア等少しでも長く登山を楽しむための知恵をまとめました。

購入連絡・問合せ先：広木 国昭
danphiro@jcom.zaq.ne.jp

安全に楽しく息長く登山を続け
「悔いのない生涯」を自分の努力で手に入れて下さい。
いつでもどこでもトレーニングは可能です。

関東ブロック自然保護担当者会議 開催案内

ZOOMで開催
2022年11月26日(土) 午後2時～6時
主管:千葉県連

参加者募集中!

**申込締切
11月12日(土)**

関東1都7県(山梨県含む)の各地方連盟から、自然保護担当者などが参加し、これまで取り組んできた活動や現在直面している問題などを報告しあい、今後の自然保護活動について意見交換をします。

この機会に、各地で抱えている問題や取り組んでいかなければならない課題を知り、今後の県連活動に生かしていきたいと思います。

是非、他の地方連盟の活動に耳を傾けてみてはいかがでしょうか?

<当日のタイムスケジュール>

14:00 接続開始

14:15 開会挨拶 千葉県連自然保護委員会委員長 菅井 修(司会)
参加者紹介(各地方連盟、千葉県連自然保護委員会委員など)

14:40 千葉県連理事長挨拶 野田 久生

14:45 各地方連盟からの報告 各10分程度(資料参照)

16:10 休憩(15分)

16:25 討論(75分)

17:40 まとめ

17:50 閉会

<主なテーマ>

- ① コロナ禍での活動状況
- ② 各地方連盟特有の活動と問題点
- ③ 今後の活動 他

問合せ先・申込先: 菅井 修(自然保護委員会委員長)

TEL: 090-7847-9651

E-メール: fa23475@wa3.so-net.ne.jp

2022 年 10 月 17 日

千葉県連盟・加盟会
代表者・県連理事 各位

千葉県連 会長 広木 国昭

2023年・労山カレンダーの取り扱いについて

日頃、千葉県勤労者山岳連盟活動に参加・協力をいただきありがとうございます。
さて、2023年労山カレンダーの申込みの時期になりました。
今年度も、下記の要領で取り扱いますのでご協力をお願いします。

1, 申し込みについて(WEB フォームより申込み)

会で購入部数を取りまとめ、必ず2ヶ所に申込み(連絡)をして下さい。

- ① 全国連盟ホームページの労山カレンダー申込みの『WEB フォーム』より申込んでください。メールでは受け付けないそうです。

又は、次の事項を記入してファックスで申し込んでください。

地方連盟名、 会・クラブ名、 注文部数、
送付先情報(氏名、会員番号、郵便番号、住所、電話番号)
(FAX: 03-3235-4324)

- ② 深草県連理事(岳人あびこ)にメールで連絡をしてください。

(県連の取りまとめを、深草理事が引き受けてくれました)

(深草理事アドレス: sfukakusa@mist.ocn.ne.jp)

2, 支払いについて

県連購入部数代金を、広木がまとめて全国連盟に一括で支払いをします。

会での『購入部数×1,000円』を、12月理事会に持参して下さい。

但し、持参出来ない場合は、12月24日(金)までに、広木まで振り込みをお願いします(振込手数料:各会負担)。振込先は、後日連絡します。

3, カレンダー代金について

全国連盟からは一部700円ですが、各会には一部1,000円をお願いします。

300円は県連財政として、ご協力をお願いします。

★ 申し込みは、各会でまとめて『1回』として下さい。

全国連盟からは、県連加盟会全体で1回だけ無料で送られます。

また、各会へは有料で送られますが、送料は、1回目に限り県連で負担します。

2回目以降の各会への送料は、各会で負担をお願いします。

従って、出来る限り1回で済ませるように配慮してください。

- ◆ カレンダーの取扱いは、本来事務局で実施します。

しかし、現在、事務局不在のため、深草県連理事(岳人あびこ)がまとめを行い、会計を広木が担当します。

- ◆ 問合せ先: 広木 (danphiro@jcom.zaq.ne.jp)

10/20 理事会で説明した内容に、
一部加筆修正しました。(編集子)

房総の山復興山の日記念講演会（田中陽希氏講演会）に関連して

『田中陽希日記』の紹介

安彦 秀夫（東葛山の会）

8月11日（木・山の日）の講演会に、多くの方の入場をいただき、無事終了出来て、運営に携わった一人として肩の荷を下ろしホッとしているところです。

今回の講演会を前に、田中陽希さんの本を読みました。

- ① アドベンチャーレースに生きる ② それでも僕は歩き続ける
- ③ 百名山ひと筆書き ④ 日本2百名山ひと筆書き

また、講演会後に発行された『田中陽希日記』も、早速読みました。その中には、講演会で触れられていた『千葉県』関連の部分も詳細に書かれています。その部分を紹介します。

2019年1月14日 千葉県・茨城県（p.70）

三百名山の旅を再開 準備は1人駅伝300キロ

2019年のスタートは神奈川県の実家から。いつもと違う閑散とした駅前や、いつもと変わらない渋谷、正月らしい大行列の浅草寺などを抜けて、千葉県へと歩を進めた。千葉県には日本三百名山が一つもないが、計画途中から房総半島を1周したいと考えていた。

初登りは三百名山ではなく、千葉県を代表する「鋸山」。東京湾を一望でき、遠くは富士山や箱根山、伊豆半島も目に映る。また、石切り場だった当時の面影が随所に残り、独特な雰囲気に登山者の多くは、足を止めて「これはすごい」となる。

房総半島を1周するだけで約300キロの道のりになる。道中で「すごい遠回りですね」と聞かれるが、そもそも自分が選んで歩く道なのだから、遠回りだとは全く思っていない。

自宅から122座目の筑波山までは約100キロ。房総半島1周の距離を加えれば、400キロにもなる。約1カ月の休養明けにはちょうどよい準備運動になるだろうと考えた。

駅伝になぞらえて、房総半島1周を1人駅伝「千葉路全10区」とした。内房から外房へ、往路ゴールは野島崎灯台、復路ゴールは犬吠埼を經由して、香取市までとなった。房総半島の南端、館山市は真冬にもかかわらず、水仙や菜の花などたくさんの花が咲き、どこまでも続く九十九里浜からも富士山が見えた。

1月11日。犬吠埼で水平線から昇る日の出を見て「最終10区」を迎え、じんわりと感動していた。それから3日後の成人の日に快晴の筑波山に登頂。再び三百名山全山登頂へのカウントダウンが始まった。

2019年を振り返って（p.124）

（前略）骨折、失効してしまった運転免許の再取得、長梅雨による停滞、厳冬期の壁など、度重なるスケジュールの変更、ルート変更により、2018年11月から2021年

3月までの2年5カ月間、迷路のように縦横無尽に歩き、走り、登り続けた。

いま、筆を走らせながら頭で記憶をなぞってみるが、どこをどの順番で、どう歩いたかを思い出すだけでも一苦労だ。

その中で、計画変更により旅を深めた場所がある。それが千葉県だ。2019年元日に神奈川県の実家を出発したあと、都心を抜けて、房総半島を縁取るように、犬吠崎まで約400キロを10日間で歩いた。この区間はNHKの密着取材もなく、グレートトラバース3の番組内でも放送されていない。

しかし、なぜ千葉県へ？それは遡ること2018年3月27日、九州から山口県へ入る際に気づいたことがあった。沖縄県を除く46都道府県の内、山口県、香川県、愛知県、千葉県の4県に三百名山がないことだ。そこで、その4県も最低一座は登ろうと計画変更していた。山口県は下関市の竜王山を筆頭に低山を複数登り、香川県では讃岐富士に、愛知県では豊田市の猿投山へと登った。そして、千葉県はというと鋸山だ。やはりこの山だろう。

内房線に寄り添うように館山まで南下し、今度は外房線沿いを北上、先が見えない九十九里浜を抜け、1月11日に犬吠崎で狙い通り水平線から昇る朝日を見ることができた。

この3日後、2019年最初の山となった筑波山に登頂したのが記憶にしっかりと残っている。「旅はまさに生き物」、どう内容を深められるかは旅人の腕次第なのだと思う。

千葉県について書かれた部分を引用しましたが、是非、実際に本を読んで、『田中陽希ワールド』にどっぷりと浸ってみてはいかがでしょうか？

タイトル通り、一つの山を文章で1ページに纏め、次のページにもう一つの山を書くという見開きで2座を紹介し、次の2ページ見開きに、それに関連する山々での写真が掲載される…という構成になっています。

最後には、300名山全ての登頂日とトピックスが纏められています。

一読をお勧めします。

ますます陽希ファンになること間違いなしです。(2022/10/25/Tue.)



県連活動予定表

11月			12月		
日付	曜日	県連活動予定	日付	曜日	県連活動予定
1	火		1	木	役員会（ZOOM）14：00～
2	水		2	金	
3	木	役員会（ZOOM）14：00～文化の日	3	土	
4	金		4	日	
5	土		5	月	
6	日		6	火	
7	月		7	水	
8	火		8	木	海外委員会（ZOOM）19：00～
9	水		9	金	
10	木		10	土	
11	金		11	日	
12	土		12	月	
13	日		13	火	
14	月		14	水	
15	火	自然保護委員会（ZOOM）19：00～	15	木	理事会（船橋市西部公民館）19：00～
16	水		16	金	（カレンダー代金集金）
17	木	理事会（ZOOM）19：00～	17	土	
18	金		18	日	
19	土		19	月	
20	日		20	火	
21	月		21	水	
22	火		22	木	第4回 オンライン講習会19：00～
23	水	勤労感謝の日	23	金	
24	木	第3回 オンライン講習会19：00～	24	土	
25	金		25	日	
26	土	関東ブロック自然保護担当者会議	26	月	教遭委員会（ZOOM）
27	日	（ちば県連主管 ZOOM）	27	火	
28	月	教遭委員会（ZOOM）	28	水	
29	火		29	木	
30	水		30	金	
			31	土	

事故発生時の連絡先

各委員会は、25日までに予定を連絡ください。

●事故一報は事故発生後一か月以内に！

●全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

県連教育遭難委員会

メール： jwaf@jwaf.jp

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

ファクス： 03-3235-4324

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所には常駐者はいません